

ワイヤレスソリューションの国内市場投入 ～状態監視システムの国内ラインナップを拡充～

- ワイヤレスタイプのセンサとクラウドシステムを活用した遠隔監視型の状態監視システムを開発
- 2024年1月より国内市場投入を開始

日本精工株式会社(本社:東京都品川区、代表者:取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊、以下NSK)は、状態監視システム ワイヤレスソリューションを、2024年1月より国内市場へ本格投入します。

NSKは本システムを、2023年11月28日(火)～12月2日(土)に開催される「IPF Japan 2023 国際プラスチックフェア」に初出展します。

1. 開発の背景

これまで NSK は、国内市場において、2017年に開発した巡回監視向けワイヤレス振動診断器 D-VibA10を主に販売してきました。その後、2021年にBrüel & Kjær Vibro(ブリュエル・ケアー・バイブロ、以下「B&K Vibro」)をグループに加えたことにより(詳細:[こちら](#))、幅広いシステムラインナップおよびサービスを提供することが可能になりました。

B&K Vibro は、主に海外で石油化学プラントや発電設備に対して遠隔監視型の状態監視システム(以下、CMS)を販売してきました。一方で、NSKのこれまでの国内販売活動から、国内においても遠隔監視型のCMSのニーズが多いことを認識していました。

ただし、既存の遠隔監視型のCMSは、多くのデータを取得する事から信頼性が高い反面、費用や設置、設定の面で難易度が高く、初めてCMSの導入を検討されるお客様にとってはハードルが高く、また、場合によってはオーバースペックとなることもありました。

そこで今期に入り、B&K Vibroが、より簡単に導入できる遠隔監視型のCMSとして本ワイヤレスソリューションを開発し、海外での販売を先行開始しました。この度、国内の販売準備が整ったことから、国内市場へも投入いたします。なお、日本国内に対してはNSKから販売します。

本ソリューションは、すでに販売している巡回監視型D-VibA10の次のステップとして、簡単に導入できる遠隔監視型のCMSとなりますので、初めてCMSの導入を検討されるお客様にも最適です。

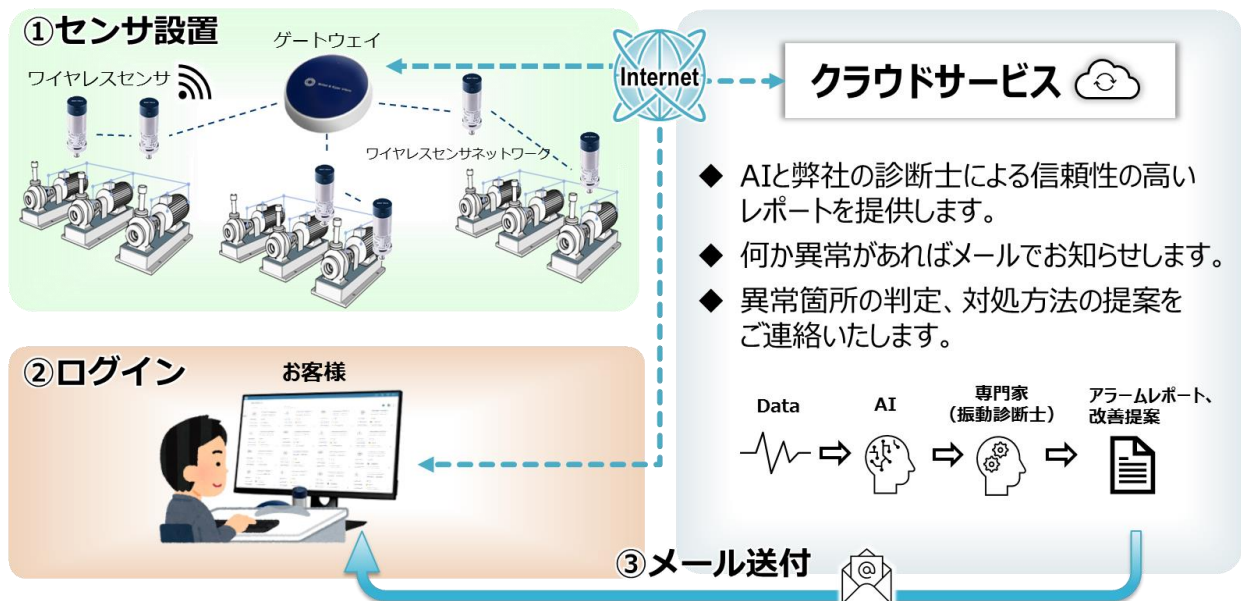


状態監視システム ラインナップ

2. ワイヤレスソリューションの特長と期待される効果

- センサがワイヤレスのため配線作業が不要です。クラウド活用で簡単に状態監視が導入でき、インターネットに接続すればどこからでもデータの確認が可能です。
- 1つのセンサで3軸方向の加速度と温度が測定でき、独自の診断指標値を算出しAIでチェックします。精度の高い状態監視に裏付けられた、設備異常の早期発見を実現します。
- 診断士※が測定データを確認してサポートします。データを確認した上で、適切な診断と処置をご提案して、お客様の状態監視を支援します。

※ ISO18436-2 準拠 機械状態監視診断技術者 (振動)



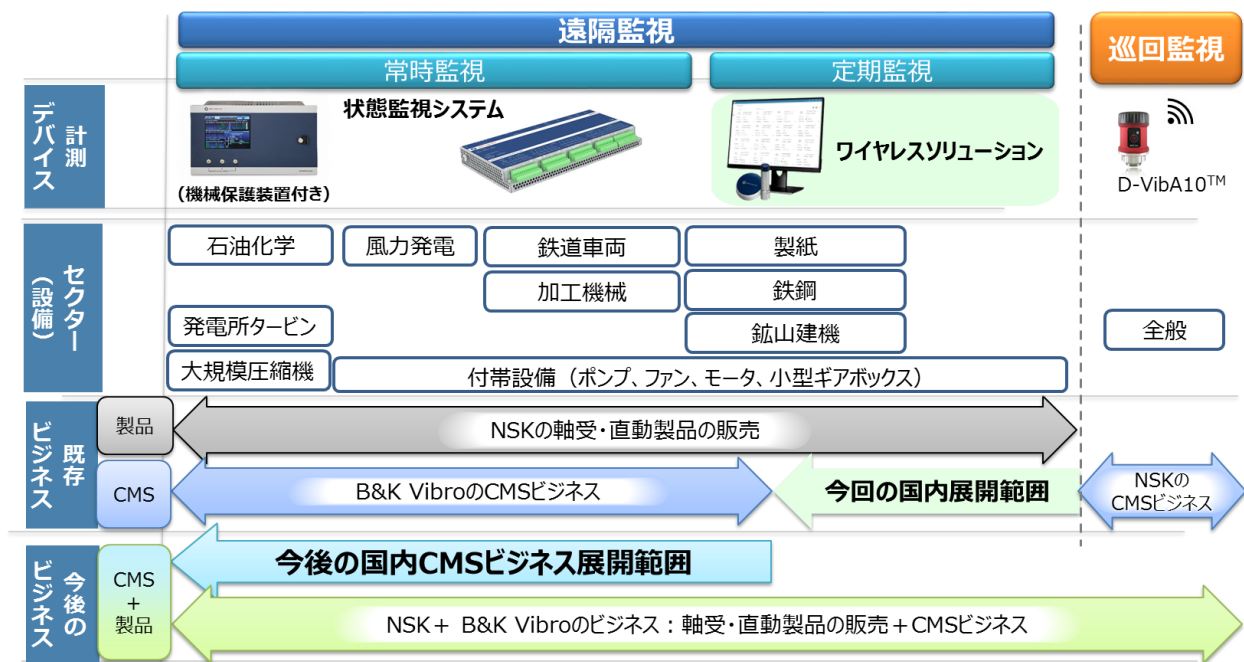
ワイヤレスソリューション導入の姿

3. NSK が目指す今後の CMS ビジネス

B&K Vibro は、石油化学プラントや発電プラントなどの設備向け、風力発電向けで多くの CMS ビジネスの実績があります。今後は、日本国内においても B&K Vibro の CMS ビジネスを展開・拡大し、より多くのお客様のニーズに対応いたします。

また、NSK は軸受や直動製品(ボールねじ、リニアガイドなど)の製品開発を通じて、独自の診断技術を培ってきました。この診断技術を B&K Vibro の製品・サービスに実装することで、幅広い産業の予知保全の実現に貢献します。

さらには、状態監視データを NSK の製品開発にも活用し、製品改良に繋げていきます。このように、NSK は製品ライフサイクルを通じた価値の創出で社会に貢献していきます。



NSK が目指す今後の CMS ビジネス

■NSK について

NSK は、1916 年に日本で最初の軸受(ベアリング)を生産して以来、100 年以上にわたり軸受や自動車部品、精機製品などのさまざまな革新的な製品・技術を生み出し、世界の産業の発展を支えてきました。1960 年代初頭から海外に進出し、現在では約 30 ヶ国に拠点を設け、軸受の分野で世界第 3 位、また電動パワーステアリング、ボールねじなどにおいても世界をリードしています。

企業理念として、MOTION & CONTROL™を通じて円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めることを掲げています。2026 年に向けて NSK ビジョン 2026「あたらしい動きをつくる。」を掲げ、世の中の期待に応える価値を協創し、社会への貢献と企業の発展の両立を目指していきます。

NSK については、[こちらのページ](#)をご覧ください。

以上

■参考リリース

- 2021年3月
[コンディション・モニタリング・システム事業の買収完了について | ニュース | 企業情報 | 日本精工\(NSK\) \(nsk.com\)](#)
- 2021年12月
[NSKグループのブリュエル・ケアー・バイブロの状態監視システムがベルリン地下鉄のシュタッドラー・レー
ル社に採用 | ニュース | 企業情報 | 日本精工\(NSK\) \(nsk.com\)](#)
- 2023年8月
NSK Kielce 工場でのワイヤレスソリューション導入
[BKV Beyond installation – NSK Kielce ball bearing factory \(bkvibro.com\)](#)
- 2023年9月
[直動製品の状態監視システム実用化に向けた開発を開始 | ニュース | 企業情報 | 日本精工\(NSK\) \(nsk.com\)](#)